

「おかあさん弁当、うれしいな」

子どもたちが楽しみにしていた遠足の朝は、雲ひとつない快晴でした。大型バスに乗って出発する4、5歳児の子どもたちを、小さい子どもたちが手を振って見送ってくれました。



公園のアスレチックで「あえんだ」後は、待ちに待ったお弁当の時間です。



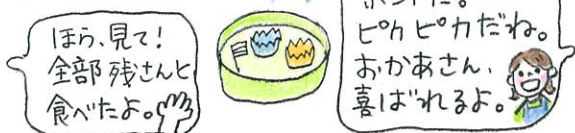
おかあさん弁当を開けたとたん、4歳児のYちゃんは、目を輝かせました。



しばらく弁当箱を見つめていたYちゃんは、トーストを口に入れました。



愛情の込められた、おかあさん弁当を開けたときの喜びが、子どもたちの満面の笑顔から伝わってきました。

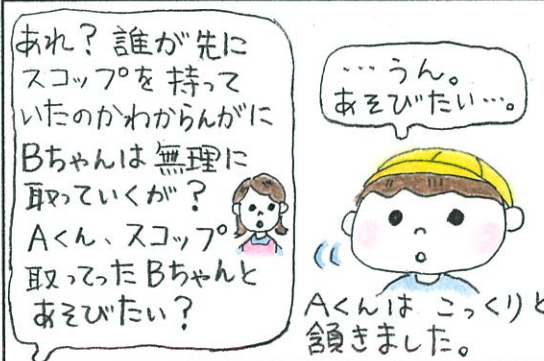


「ぼくの!」「わたしの!」

石少場でスコップの取り合いになった3歳児のAくんとBちゃん。互いに譲らず、スコップを引っ張り合っていました。



どうしたの? Aくん、Bちゃん



Aくんの言葉に、Bちゃんは目をパチクリ。手に持っていたスコップを、あわててAくんに渡しました。



笑顔になったAくんとBちゃんは、また、いつものように仲良くあそび始めました。

「子どもの世界ってステキだね」と思った瞬間でした。